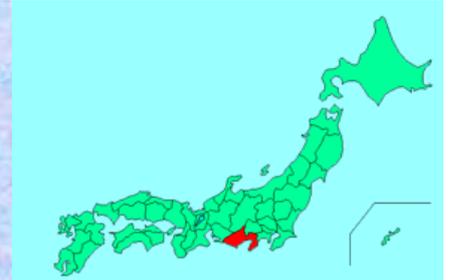




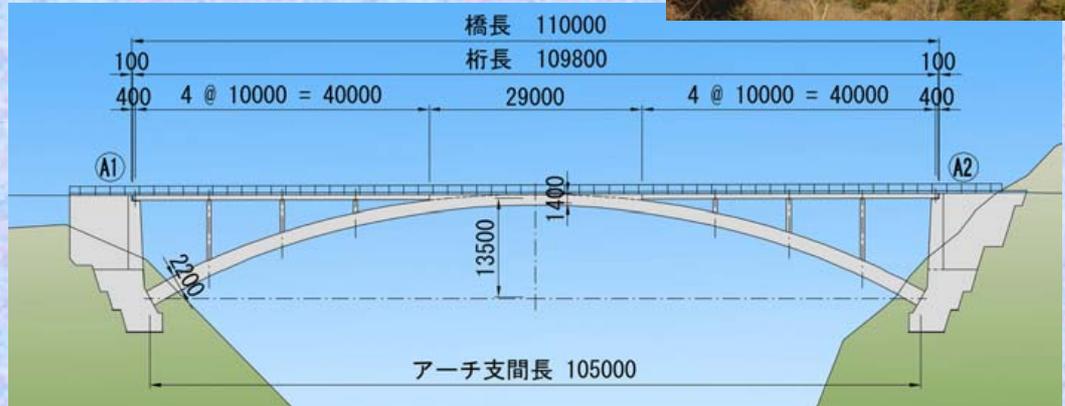
すどけいこくばし
須津溪谷橋

須津溪谷橋は、静岡県富士市と沼津市を結ぶ林道整備工事の一環として須津川峡谷に架橋された上路式RC固定アーチ橋です。

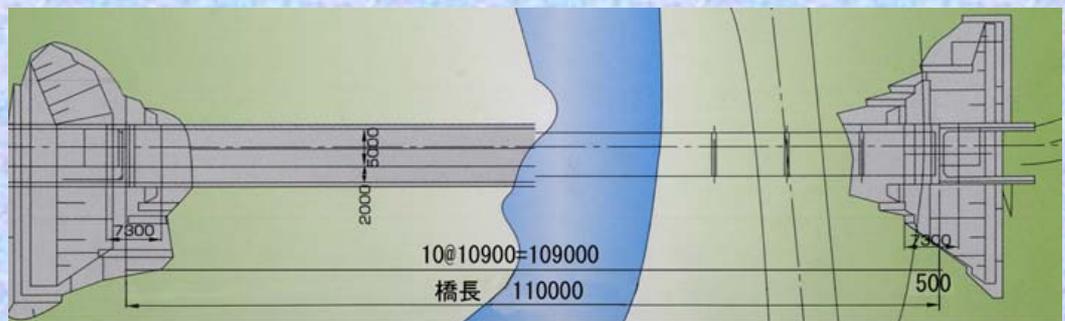
本橋は、フォアステイとグラウンドアンカーをアーチアバット上のウィングにたすきがけに定着することで、一般的なアーチの施工で使用するバックステイがなくされています。また、アーチリブの鉄筋のプレファブ化、軸方向鉄筋のループ継手が採用され、現場施工の省力化が図られています。



一般図



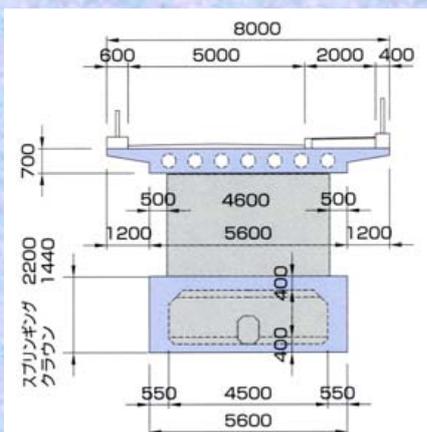
平面図



橋梁諸元

- 工事名：平成12年度ふれあい林道整備愛鷹線橋梁工事
- 発注者：静岡県
- 設計者：セントラルコンサルタント(株)
- 位置：静岡県富士市比奈地内
- 道路規格：林道 自動車道1級
- 形式：RC固定アーチ橋
- 荷重：A活荷重
- 橋長：110.0m
- アーチ支間：105.0m
- アーチライズ：13.5m
- 総幅員：8.0m（有効幅員5.0m（車道）+2.0m（歩道））
- 架設工法：斜吊り張出し架設工法

断面図（鉛直材部）



構造・施工概要

1) バックステイの省略

フォアステイとグラウンドアンカーをアーチアバット上のウイングにたすきがけに定着することで、一般的なアーチの施工で使用するバックステイをなくされています。これにより、アーチの施工完了後に撤去するバックステイや巻き立てコンクリートなどの産業廃棄物が削減されています。

2) 架設鋼材の合理化

フォアステイとして、一般的なアーチの張出し施工に用いられてきたPC鋼棒の代わりに、大容量のPC鋼より線を使用して、定着箇所を減らし、作業性が高められています。

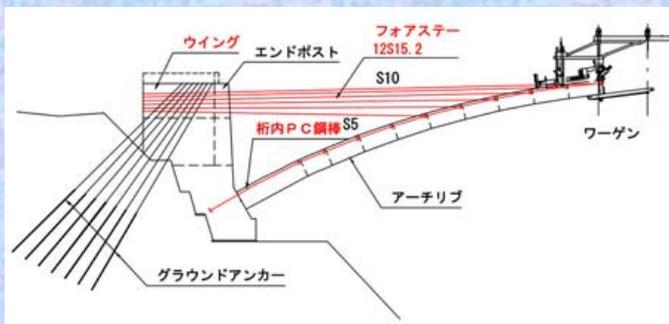
同時にこのフォアステイを毎ブロックの小口定着とすることで、アーチリブ内に配置するPC鋼棒を従来の1/2以下となっています。

3) アーチの鉄筋のプレファブ化

アーチの鉄筋をプレファブ化し、現場施工の省力化を図っています。また、軸方向鉄筋を全数ループ継手として、省力化の効率を高めています。



架設鋼材配置図



鉄筋籠の吊り込み



工程表

項目	平成12年					平成13年												平成14年												
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
準備工	■	■	■	■	■																									
アーチアバット						■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■												
アーチリブ													■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
鉛直材																									■					
補剛桁																										■	■	■	■	■
橋面工																													■	